

# THE WEEKLY NEWS OF FUTTSU-CHUO

奉仕を通じて平和を  
Peace Through Service



平和そして明るい未来  
Peace, And Bright Future

国際ロータリー会長 田中 作次

2012~2013

富津中央RC会長 高橋 裕之

国際ロータリー 第 2790 地区 富津中央ロータリークラブ 創立:1966/10/13 加盟承認:1966/12/12  
RI D2790 FUTTSU-CHUO ROTARY CLUB Organized : Oct./13/1966 Chartered : Dec./12/1966

## No.2291 第38回例会 2013. 4. 18 晴

点 鐘 : 高橋裕之 会長  
進 行 : 高島治雄 副 SAA  
ソング : それでこそロータリー

で予算面での相談があります。

また、4月29日は地区協議会、5月30日は市内3クラブ合同例会ですので、会員の皆様は準備をよろしくお願いいたします。

### 会長挨拶

高橋裕之 会長



皆様こんにちは。本日は大変暖かく、すっかり初夏の様相ですね。今期も残り2ヶ月となるところですが、この間の行事が盛り沢山ですので、息切れしないように最後まで頑張りたいと思います。

まず最初に、1週間前に書面で新入会員候補の案内をしましたが、異議の申し立てがありませんでしたので、平野安照さんの入会が正式に決定したことをお知らせいたします。入会セレモニーは、次週が移動例会になりますので、5月2日の例会でおこないたいと思います。

昨夜は、いち川寿司に於いて、嘉義南ロータリークラブ訪問の結団式を12名でおこないました。

姉妹クラブ訪問に際して、例会終了後の理事会

### 会長報告

例会終了後理事会を開催いたします。

### 幹事報告

若鍋武良 幹事

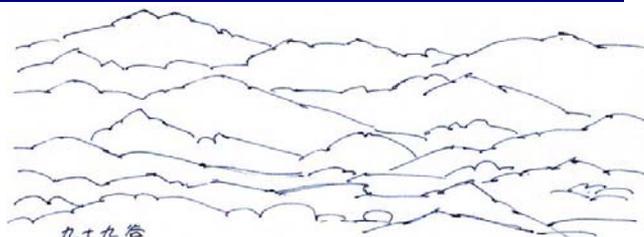


皆さん今日は。昨日姉妹クラブである台湾嘉義南RC訪問の結団式が行われました。全員事故なく、親善訪問の目的が果たせることを願っております。

また、来月30日に開催が予定されている市内3クラブ合同例会は、当クラブが当番クラブです。例会には原則全員参加をお願い致します。幹事報告をします。

1. 回覧 上総RC週報
2. 例会変更 木更津 RC

〒293-0042 富津市小久保2868  
さざ波館 Sazanami-kan  
2868 Kokubo Futtsu-shi Chiba-ken,  
Zip code 293-0042  
Tel.0439-65-3373 Fax.0439-65-3304  
URL <http://www.futtsuchuo-rotary.org>



5月2日(木)クラブ定款第6条第1節c項に基づき休会。

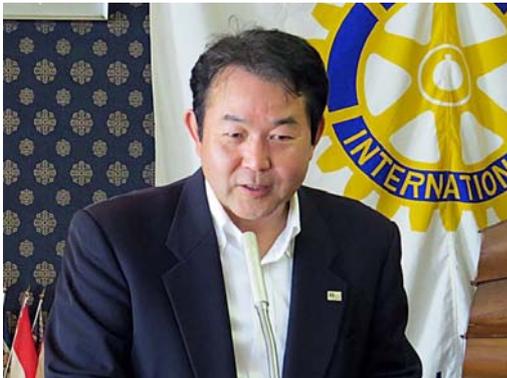
## 誕生祝



渡辺 務 昭和36年4月25日

## 誕生一言

渡辺 務 会員



誕生日のお祝いをいただきありがとうございます。  
4月25日で52才となります。

50歳を超えて年齢を重ねることに特に感慨もないのですが日々健康でいられることに感謝をしたいと思います。

また、ちょうど誕生日を挟んで台湾訪問をすることを楽しみにしています。私にとっては久しぶりの海外、しかも嘉義南RCの友人たちとお会いできることで新たな刺激と活力を感じることができればと思います。

## 委員会報告

### 奉仕プロジェクト委員会

高島治雄 国際奉仕担当部長

烏山頭公園桜植樹協賛金として、全会員から六千円ずつ拠出頂きましたが、それにクラブから三万円を足して計十五万円とし、嘉義南クラブを通して贈呈します。

## 合同例会小委員会

三井 進 副SAA

5月30日の合同例会ゴルフ料金はメンバーの方はプレー・昼食・賞品代合計が一万円になります。

当日は、出来るだけ楽しく盛大な会となる様、最善を尽くします。

## 卓話

### 台湾訪問雑感

志波 克 会員



台湾の嘉義南クラブ訪問が間近になり、昨夜は結団式も行われました。烏山頭ダムを中心とした大水利設備・<sup>か なんと いしゅう</sup>嘉南大圳を完成させた<sup>は った よい ち</sup>八田與一技師ゆかりの地への桜植樹協賛金を持参贈呈するという大変国際色豊かな訪問であります。

今年度RIテーマは「奉仕を通じて平和を」ですが、昨今の不穏な世界情勢を改善する為にも今回の様な活動を積み重ねて行きたいものです。

富津中央クラブでは、昭和50年頃から交換学生事業を始め、その後10数年で50人近くの若人を受け入れ、送り出し、広い視野を持った社会人を育てるプログラムに取り組んできました。

その間、私も何らかの形で事業に携わってきましたが、異文化との直接の接触にはやはり相当なカルチャーショックもありました。そうした中で得た結論は、異文化の元で育った人々と平和に暮らすには相手の文化を認め、出来れば理解して、尊重することだということでした。

その「互いの文化を認め合う」お手本として、前にも一度紹介しましたが、日本経済新聞の「私の履歴書」で天台座主・<sup>や ま だ え たい</sup>山田恵諦師が述べて居られることを紹介させていただきます。

…日本軍の真珠湾攻撃で犠牲になった人々を祀るパンチ・ボウルという施設にお参りした時のこと

である。私達の姿を見るなり、係の人が「アメリカの国教はキリスト教ですから、ここでお経を上げることは出来ません」と言うので、拝むだけで帰ってきた。

二度目に行った時もそのつもりでいると、「今日はどうぞお経を上げて下さい」と前回とは正反対。しかもこんなことを言う。

この前はご無礼をしました。ここに祀る英霊の中には仏教徒もいるのに、仏教式を許可しなかったのは私達の誤りです。只、ここは合衆国政府の施設ですので、国は国としての礼を尽くさねばなりません。あなた方がお経を上げられた後に私達は追悼のラッパを吹きますから、その時だけは起立して御一緒に英霊を慰めて下さい……。

そのラッパの音は、どれほど深く心に響いたことであろう。それぞれの宗教を認めた上で自分たちの筋を通すやり方に、米国人の雅量を感じたものである。中心となるのは英霊であって、国や宗教のメンツが優先してはいけない。…

私達の国際交流も相手の文化を認めながら、しっかりと本筋を考え、自分の道を進んで行けば、「奉仕を通じて平和を」を大いに推進する事が出来ると思います。

### 13年度嘉義南区扶輪社訪問

#### その経緯と意義について

石渡 鋼 会員



今より29年前、故島田明会員はそのエネルギーな活動をもって嘉義南扶輪社との姉妹締結、台南西扶輪社との友好締結を遺産の一つとして残されて逝きました。

以来その友好親善の灯りは絶えることなく現在に至り、我々にとって最も親しみのある外国、「台湾」として位置付られて今に至っております。世界情勢は刻一刻予測不能な変化を遂げている時代に、共

通の価値観、礼儀、友情を尊重する友人が隣国にいることは、とても心やすらぐ事で平和とはこのことかと実感するしだいです。

昨年8月、台南西 RC の会報に、3470地区ガバナー呂明憲氏の提唱「扶輪桜花林」計画の文が目に入りました。解る漢字だけ拾い読みしてみると、ポールハリスが世界平和の為、世界各地に「友誼之樹」を植えようと提唱されたことに因み、また当地（台湾）でも「前人種樹、後人乘涼」の諺があるので地球環境保全の意味からも「烏山頭水庫」地域に桜の樹を1000から2000本植えようではないかと地区内 RC に呼び掛けられました。

日本でも同じ意味の諺に「水を汲む人は井戸を掘った人を忘れない」或いは「孫の為に樹を植える」など単なる経済行為だけでなく、後世の人の喜びの為に今やっておこうという非常に分かりやすい諺であります。

そして9月になり私から植樹計画への賛助を嘉義南パストガバナー陳仁徳さんに突然にメールを差し上げ、即座に現ガバナー呂明憲氏の快諾を取って頂きました。そのときの私の方からの申し出の理由に①前人種樹の考えに同感したこと②植える樹種が日本人の好きな桜であること③植える場所が台湾で大変尊敬されている日本人、八田與一翁が造り、また眠る「烏山頭ダム」の公園であること、そして何といても④東日本震災に最も多くの見舞金を出されたことへの気持ちばかりの御礼（因みに嘉義南扶輪社だけで300万円を寄付されているやに聴いております）を込めて等を申し上げました。

それから幾度となくメール交換と当クラブの協議を経てこの度の訪台、嘉義社創立34周年記念式典に参列し、且つ引き渡しできる運びとなりまいたことは、一提案者と致しましてこの上無い喜びであり、ここに会員のみなさんの理解と協力に感謝申し上げる次第です。



桔梗

## ニコニコBOX

渡辺 務 親睦担当委員

高島治雄 過日プレゼントの食事券を使いホテル  
オークラで家内と食事をしてきました。

\* 訪台団 結団式残金。

\* 渡辺務 結団式に出席できず残念。

及び、誕生祝に感謝。

\* 石渡鋼 訪台の結団式も終わり、準備完了。

三井 進 塩山のお土産を頂きました。

\* >1,000 円 合計 9,300 円

## 出席報告

原田雅式 出席担当部長

区分	会員数	出席	欠席	MakeUp	出席率
今回	20/18	15	3		83.33%
前回	20/17	11	6		64.71%

近隣クラブ例会日 (通常 12:30 点鐘)

月	君津、袖ヶ浦(特別 最終例会は夜間)
火	富津(特別 18:30 10~3 月 18:00)
水	木更津東(特 18:30)、富津シティ(特 19:00)
木	上総、木更津

君津 RC	ホテル千成	0439-52-8511
袖ヶ浦 RC	レストラン菜心味袖ヶ浦店	0438-60-1753
富津 RC	山の上ホテル	0439-67-0388
木更津東 RC	ロイヤルヒルズ木更津ビューホテル	0438-23-0211
富津シティ RC	新日鐵住金富津クラブ	0439-80-2525
上総 RC	割烹旅館 山徳	0439-27-2003
木更津 RC	東京ベイプラザホテル	0438-25-8888

## 理事会報告

1. 嘉義南訪問の際のクラブよりの予算執行は、国際奉仕の8万円に12万円を加えて、20万円とする。内訳は、桜の植樹に対するクラブからの賛助金+土産代+移動費用等です。
2. プログラム  
5/02 新入会員入会セレモニー、次年度会長方針発表  
5/09 会員卓話(大網・小野)  
5/16 新入会員歓迎夜間例会  
5/23 奉仕プロジェクト(海岸清掃もしくは駅前清掃)  
5/30 市内3クラブ合同例会(鹿野山 GC)
3. 仏画の巨匠、染川英輔画伯の卓話を6/13に予定いたします。

## 埋草

### 機会を作る

今日の卓話の種探しにロータリーの友をパラパラとめくっていたら「自分で機会をつくり、その機会を使って自分を伸ばせ」、と言うような文がありました。

今、もう一度よく読んでみようと思い、ページをめくったがどうしても見つからないので、ひよっとしたら違う雑誌だったかと諦め、出所無記載で使わせて頂きます。

今回の台湾訪問の機会は石渡鋼会員が作りました。そして中国語の解説から先方との頻繁な連絡、多くの情報収集、会員の賛同、旅行計画の作成と、困難な作業をやり遂げ、傍目にも大きく自分を伸ばされました。

考えてみると、ロータリーの奉仕活動は会員が自分自身の得意部門で奉仕の機会を考えだし、それをクラブに提案し、積極的に活動することにより、自分とクラブを成長させながら社会の役に立つ事のようにあります。

これからも石渡会員に続き、それぞれが積極的に機会をつくり、クラブの奉仕活動を活性化させ、各自自身を高めて行きたいものであります。

(しば)